

診療情報を利用した臨床研究について

虎の門病院血液内科では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた記録をまとめるものです。この案内をお読みになり、ご自身やご家族等がこの研究の対象者にあたると思われる方の中で、ご質問がある場合、またはこの研究に「ご自身やご家族等の診療情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の相談窓口までご連絡ください。

【対象となる方】

調査対象となる期間：2019年1月1日～2025年2月28日の間に、虎の門病院に入院・通院している造血器腫瘍患者の中でCOVID-19を発症した方

【研究課題名】

血液疾患患者におけるCOVID-19の予後

【研究の目的・背景】

《目的》

血液疾患患者のCOVID-19の臨床経過と特徴を解析いたします。

《研究に至る背景》

血液疾患患者においてCOVID-19は致死的な経過を辿る可能性のある感染症です。しかしながら同じ血液疾患患者であっても疾患や治療歴によって重症化リスクが異なると考えられており、これ以上のことについてはまだわかっていないのが現状です。虎の門病院は血液疾患患者を多く診療しておりCOVID-19の診療経験も豊富です。本研究の結果から、患者さんにより良い移植医療を提供できるようになる重要な情報が得られると考えております。

【研究のために診療情報を解析研究する期間】

2023年4月25日 ～ 2028年3月31日

【単独／共同研究の別】

虎の門病院単独研究

【個人情報の取り扱い】

お名前、ご住所などの特定の個人を識別する情報につきましては特定の個人を識別することができないように個人と関わりのない番号等におきかえて研究します。学会や学術雑誌等で公表する際にも、個人が特定できないような形で発表します。

また、本研究に関わる記録・資料は 虎の門病院血液内科 内田直之のもと研究終了後5年間保管いたします。保管期間終了後、本研究に関わる記録・資料は個人が特定できない形で廃棄します。

【利用する診療情報】

患者基本情報（年齢、性別、身長、体重、併存疾患）

疾患情報（血液疾患、治療歴）、COVID-19 情報（治療、重症度）

【研究代表者】

血液内科 内田 直之

【虎の門病院における研究責任者】

血液内科 内田 直之

【研究の方法等に関する資料の閲覧について】

本研究の対象者のうち希望される方は、個人情報及び知的財産権の保護等に支障がない範囲内に限られますが、研究の方法の詳細に関する資料を閲覧することができます。

【ご質問がある場合及び診療情報の使用を希望しない場合】

本研究に関する質問、お問い合わせがある場合、またはご自身やご家族等の診療情報につき、開示または訂正のご希望がある場合には、下記相談窓口までご連絡ください。

また、ご自身やご家族等の診療情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、2026年3月31日までの間に下記の相談窓口までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様に不利益が生じることはありません。

【相談窓口】

虎の門病院 血液内科 渡部音哉

電話 03-3588-1111(代表)